

外国語活動指導案

本巣市真桑小学校
教諭 吉田 珠枝
川合 裕之
登尾 裕美
松久 直実

1 日 時

平成25年1月30日(水)

2 学 級

第6学年全学級

3 単元名

Hi, friends! 2 Lesson 7 We are good friends. オリジナルの劇をつくろう

4 単元目標

- ・積極的に英語で物語の内容を伝えようとする。
- ・まとまった英語の話を聞いて、内容がわかり、場面にあったセリフを言う。
- ・世界の物語に興味をもつ。

5 単元の評価規準

- ・世界には様々な物語があることに気付いている。
- ・まとまった話を聞いている。
- ・様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり言ったりしている。
- ・相手意識をもってまとまった話を聞いたり伝えたりしている。

8 使用する語彙や表現

dog, monkey, bird, peach, boy, Grandpa, Grandma
We are strong and brave. We are good friends.

※本校では、学級や学年の実態に合わせて、第6時間目の指導の流れが選択できるよう、複数の指導案を用意している。

9 本時 (6/6 時間目) の指導案 A (第 6 学年観客)

(1) ねらい 「オリジナル劇発表会」を通して、登場人物の台詞に慣れ親しみ (慣)、登場人物になりきって表情やジェスチャーを工夫して演じ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする (コ)。

(2) 展開

時間	学習内容	○指導者の活動 ●児童の活動	* 研究内容にかかわる指導内容 □教材・教具 ◎評価
2 分	<p>1. Greeting ○English leaders, please!</p> <p>2. Teacher's Time ○Let's check! ●発表者としての Today's Point (大切にしたいこと)「登場人物になりきり、場面に応じた表情やジェスチャーを工夫し、仲間のがんばりを認め合う」「登場人物の台詞を聞き手にわかるように言う」を確認する。 ●観客として、感想を「Good job!」シートに 4 種類の色シールで貼り、一言感想を記入することを確認する。 ○Today's Activity & Today's Point</p>	<p>□「Hi, friends! 2」p. 26 ~ 37 □小道具 □「Good job!」シート、4 種類の色シール Nice Performance 賞: red Clear Voice 賞: blue Nice Gesture 賞: yellow Nice Story 賞: green *「真桑文楽」「真桑ミュージカル」を上演したことを思い出しながら、オリジナル劇を演じることに繋げる。 *各グループの発表直後に「Good job!」シートに色シールを貼ることを確認する。</p>	
<p>オリジナル劇発表会をしよう!</p> <p>☆大切にしたいこと「登場人物になりきり、場面に応じた表情やジェスチャーを工夫して演じ、うなずいたり、ほほえんだりして仲間のがんばりを認め合う」 「登場人物の台詞を聞き手にわかるように言う」</p>			
40 分	<p>3. Activity (発表会) ○Let's play! ○グループごとに発表を行う。 順番は予め決めておく。次のグループは準備する。 時間を意識したルールの確認をする。 ・1 グループの持ち時間は移動も含めて 5 分以内。 ・時間を意識した行動をする。</p> <p>●発表者は、「自分なりのなりきり方」「自分なりの場面を意識した表情、ジェスチャー」を考えて挑戦する。 登場人物の台詞を聞き手にわかりやすく伝えるために、ゆっくり言ったり、はっきり言ったりとその役柄に応じて、自分なりに工夫する。</p> <p>●鑑賞する側は、発表者の工夫点をつかみながら観る。</p>	<p>* 発表者として、その児童なりに役を意識したジェスチャーや声の出し方を工夫している児童に認めの声をかける。</p> <p>* 観客として、発表者の様子にうなずいたり、ほほえんだりして反応しながら、「Good job!」シートに記入したりしている児童の様子を紹介していく。</p> <p>◎発表者として、登場人物になりきり、場面に応じた表情をしたり、ジェスチャーをつけたりして演じている。観客として、うなずいたりほほえんだりしながら、がんばっている様子を見つけている。</p> <p>◎I'm ~. We are strong and brave. We are good friends! などの表現やこれまでに学んだ表現を使っている。</p>	
3 分	<p>4. Comments ○Do you have any comments? ●本時の課題に向かって活動していた姿を振り返る。 () 内は児童の発言を価値付ける指導者の評価 ・～さんは、strong や brave を強調していたので、気持ちが伝わってきました。だから、私も言葉に強弱を付けて演じることができました。(強弱を付けると、話し手の言いたいことや、気持ちが伝わりやすいということがわかりましたね。) ・Delicious! や Wonderful! のときにジェスチャーが堂々としていて、気持ちが伝わってきました。自分のグループもたくさん工夫ができて楽しかったです。(観客に楽しんで観てもらうためには、表情やジェスチャーを工夫することが大切だとわかりましたね。オリジナル劇が成功しましたね。) ・演じるときに、真桑文楽やミュージカルを上演したときのことを思い出してすることができました。(生活の経験が授業でも生かすことができましたね。演技で気持ちを伝えることができたね。)</p>	<p>* 指導者の振り返り 児童が語ったことを基に「登場人物の台詞の表現を工夫して使う」、「グループの仲間とアイデアを出し合いながら、登場人物になりきって、表情やジェスチャーを工夫する」の視点から具体的に価値づける。</p> <p>* この発表会までに、真桑文楽や真桑ミュージカルの経験を活かしながら、よりよいものをつくらうと、グループで協力して行っていた姿を紹介し、こういう姿がいい仲間関係をつくってきたこと(strong and brave, good friends)であることに言及する。</p>	

(3) 評価規準

(コ) 発表者として、登場人物になりきって、表情やジェスチャーを工夫して台詞を言っている。観客として、うなずいたりほほえんだりして、まとまりのある内容を聞いている。

(慣) 登場人物の台詞 We are strong and brave. We are good friends.などの表現を聞いたり言ったりしている。

9 本時 (6/6 時間目) の指導案B (第5学年観客)

(1) ねらい 「オリジナル劇発表会」を通して、登場人物の台詞に慣れ親しみ、登場人物になりきって表情やジェスチャーを工夫して演じ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

(2) 展開

時間	学習内容	○指導者の活動 ●児童の活動	* 研究内容にかかわる指導内容 □教材・教具 ◎評価
2分	<p>1. Greeting ○English leaders, please!</p> <p>2. Teacher's Time ○Let's check! ●発表者としての Today's Point (大切にしたいこと)「登場人物になりきり、場面に応じた表情やジェスチャーを工夫する」「登場人物の台詞を聞き手にわかるように言う」を確認する。 ●観客として、「Good job!」シートに4種類の色シールで貼りながら、引き継いで行きたいよい点を見つけることを確認する。(観客) ○Today's Activity & Today's Point</p>	<p>□「Hi, friends! 2」p. 26 ~ 37 □小道具 □「Good job!」シート, 4種類の色シール Nice Performance 賞: red Clear Voice 賞: blue Nice Gesture 賞: yellow Nice Story 賞: green</p> <p>*「真桑文楽」「真桑ミュージカル」を上演したことを思い出しながら、オリジナル劇を演じることにつなげる。 *各グループの発表直後に「Good job!」シートに色シールを貼ることを確認する。</p>	
<p>オリジナル劇発表会をしよう!</p> <p>☆大切にしたいこと「登場人物になりきり、場面に応じた表情やジェスチャーを工夫して演じる。」 「内容や表現を楽しみながら、工夫やよさを見つける。」(観客) 「登場人物の台詞を聞き手にわかるように言う。」</p>			
40分	<p>3. Activity (発表会) ○Let's play! ○グループごとに発表を行う。 順番は予め決めておく。次のグループは準備する。 時間を意識したルールの確認をする。 ・1グループの持ち時間は移動も含めて5分以内。 ・時間を意識した行動をする。</p> <p>●発表者は、「自分なりのなりきり方」「自分なりの場面を意識した表情、ジェスチャー」を考えて挑戦する。 登場人物の台詞を聞き手にわかりやすく伝えるために、ゆっくり言ったり、はっきり言ったり、とその役割に応じて、自分なりに工夫する。</p> <p>●鑑賞する側は、発表者の内容の工夫や表現のよさをつかみながら観る。</p>	<p>*発表者として、その児童なりに役を意識したジェスチャーや声の出し方を工夫している児童に認め声をかける。</p> <p>*観客として、発表者の様子にうなずいたり、ほほえんだりして反応しながら、「Good job!」シートに記入したりしている児童の様子を紹介していく。</p> <p>◎発表者として、登場人物になりきり、場面に応じた表情をしたり、ジェスチャーをつけたりして演じている。観客として、うなずいたりほほえんだりしながら、がんばっている様子を見つけ、シールに反映させている。</p> <p>◎I'm ~. We are strong and brave. We are good friends! などの表現やこれまでに学んだ表現を使っている。</p>	
3分	<p>4. Comments ○Do you have any comments? ●本時の課題に向かって活動していた姿を振り返る。 ()内は児童の発言を価値づける指導者の評価 ・～さんは、strong や brave を強調していたので、気持ちが伝わってきました。だから、私も言葉に強弱をつけて演じることができました。(強弱を付けると、話し手の言いたいことや、気持ちが伝わりやすいということがわかりましたね。) ・演じるときに、真桑文楽やミュージカルを上演したときのことを思い出してすることができました。(生活の経験が授業でも生かすことができましたね。演技で気持ちを伝えることができたね。気持ちをどんどん伝えることができるように、これからも英語の勉強をがんばっていきましょう。) ・オリジナルの劇を全部英語やっつけてすごかったです。Delicious! や Strong! のときにジェスチャーが堂々としていて、気持ちが伝わってきました。たくさん工夫があって楽しかったです。今度は自分たちがこんなふうに英語で劇ができるようになりたいです。(気持ちを伝えるためには表情やジェスチャーを工夫することが大切だとわかりましたね。引き継いでいきましょうね。)</p>	<p>*指導者の振り返り 児童が語ったことを基に「登場人物の台詞の表現を工夫して使う」、「グループの仲間とアイデアを出し合いながら、登場人物になりきって、表情やジェスチャーを工夫する」の視点から具体的に価値づける。 *この発表会までに、真桑文楽や真桑ミュージカルの経験を活かしながら、よりよいものをつくろうと、グループで協力してきたことを紹介し、こういう姿がいい仲間関係をつくっていくこと(strong and brave, good friends)であることに言及する。次学年への期待を伝える。</p>	

(3) 評価規準

(コ) 発表者として、登場人物になりきって、表情やジェスチャーを工夫して台詞を言っている。観客として、うなずいたりほほえんだりして、まとまりのある内容を聞いている。

(慣) 登場人物の台詞 We are strong and brave. We are good friends.などの表現を聞いたり言ったりしている。

9 本時 (6/6 時間目) の指導案 C (DVD 用)

(1) ねらい

<第6学年>

「オリジナル劇発表会」を通して、登場人物の台詞に慣れ親しみ、登場人物になりきって表情やジェスチャーを工夫して演じ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

<第5学年>

第6学年の英語劇を鑑賞し、1年後には自分たちも英語のオリジナル劇に挑戦し、工夫を凝らした表現をしたいという意欲をもつ。

(2) 展開

時間	学習内容	○指導者の活動	●児童の活動
2分	<p>1. Greeting ○English leaders, please!</p> <p>2. Teacher's Time ○Let's check! ●発表者としての Today's Point (大切にしたいこと)「登場人物になりきり、場面に応じた表情やジェスチャーを工夫し、仲間のがんばりを認め合う」「登場人物の台詞を聞き手にわかるように言う」を確認する。 ○第5学年児童には、自分たちの来年の姿をイメージしながら、よい点を見ていくよう助言する。 ○Today's Activity & Today's Point</p>		
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>オリジナル劇発表会をしよう!</p> <p>☆大切にしたいこと「登場人物になりきり、場面に応じた表情やジェスチャーを工夫して演じ、うなずいたり、ほほえんだりして仲間のがんばりを認め合う。」 「登場人物の台詞を聞き手にわかるように言う。」</p> </div>			
40分	<p>3. Activity (発表会) ○Let's play! ○グループごとに発表を行う。 ●発表者は、「自分なりのなりきり方」「自分なりの場面を意識した表情、ジェスチャー」を考えて挑戦する。(4つのグループ) ●鑑賞する側 (第5学年児童) は、発表者の工夫点をつかみながら観る。</p>		
2分	<p>※観客が入れ替わる。(第5学年児童の残る半分が4つの劇を鑑賞する。) 前半、後半ごとに第5学年児童の感想発表を行う。</p> <p>4. Comment time ●4つのグループの発表後、第5学年児童は感想を発表する。 「堂々としていて、台詞に気持ちがこもっていたのすごかったです。私たちも来年はこんな風にやってみたいです。」 「オリジナル劇で英語をたくさん使っているの、すごかったです。」 「たくさん工夫があつて、同じ桃太郎の話とは思えないほどでした。台詞や動きに気持ちがこもっていたので、とても楽しかったです。自分たちも来年はたくさん工夫できるように頑張りたいです。」</p>		

(3) 評価規準

(コ) 発表者として、登場人物になりきって、表情やジェスチャーを工夫して台詞を言っている。観客として、うなずいたりほほえんだりして、まとまりのある内容を聞いている。

(慣) 登場人物の台詞 We are strong and brave. We are good friends.などの表現を聞いたり言ったりしている。